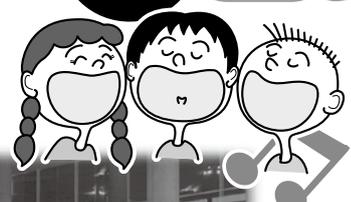


# 合唱のまち日野

第31回滋賀県高等学校総合合唱部門



日野町は合唱が盛んな町であると言われていています。小学校・中学校・高等学校の音楽の授業だけでなく、地域全体で音楽活動が行われており、多くの合唱団があります。世代に関係なく合唱を楽しめ、色々な人と交流できます。そんな日野町で合唱をしている3つのグループを紹介します。

## 滋賀県立日野高等学校 音楽部

現在、日野高校の音楽部は、16名で活動されています。「合唱のまち日野」と言われ、音楽に親しむ町民が多い中、日野高校の音楽部員は大半が初心者です。

日野高校にはたくさんの方が活動がありますが、なぜ音楽部に入部し、合唱を始めたのかを尋ねました。「歌うことが大好きで音楽部が楽しそうだったから」と言う答えが多く返ってきました。中には、「幼い頃から地域の合唱団に入団し活動していたから」という生徒もいました。

音楽部で活動してきて良かったことは、「部活動を通して、多くの友達を作ることが出来たこと」で、うれしかったことは、「コンクールに出場し賞を頂けたこと」などを挙げられました。難しい楽曲の音を上手にすることが出来ないときや、ハーモニーがなかなか合わないときは困ったそうです。部活動で頑張れるのはこのような喜びや苦労があるからなのでしょう。

今年の活動で最も大きな出来事は、8月に行われた「NHK全国学校音楽コンクール・滋賀県コンクール」への出場でした。このコンクールは、小学校・中学校・高等学校の



▲日野高等学校音楽部NHK全国学校音楽コンクール・滋賀県コンクール銀賞受賞後の様子

3つの部があり、それぞれの部で課題曲と自由曲の2曲で審査されます。今年の課題曲は「いのち」という曲でした。

この楽曲は初心者では取り組むことが難しい曲で、夏休みに猛練習されました。各パートで何度練習してもうまくいかず、もちろん全体の練習も全くと言っていいほどうまく進まなかったそうです。

しかし、全員で詩を何度も読み返し、何を伝えるべきかを確認し練習を繰り返されました。その結果、本番では、難しい曲調を表現でき、満足のできる演奏が出来たそうです。「銀賞を受賞できたときはとてもうれしかった」と感想をいただきました。これからの活躍を期待しています。

### 日野混声合唱団★

日野混声合唱団は、週1回日野公民館で活動されています。公民館の利用状況により、練習日や練習時間を変更しなければならなくなり、団員が集まるのが難しいこともありませんが、少しでも時間を合わせて練習に参加されているそうです。

日野混声合唱団結成の力ギは、菱川きよみ先生だそう。混声合唱団にいられている方が合唱を始められたきっかけは、「菱川先生に誘われた」や「日野中学校音楽部に所属していたから」という答えばかりでした。中には、中学校からではなく、幼い頃から少年少女合唱団に入り活動されていた人もおられました。

音楽とは、「趣味であり人生そのもの」や「生きていくのになくてはならないもの」、「ストレスを発散する場であり、仕事以外での仲間づくりや人と出会いつながる場」であると、音楽への思いは一人ずつ違います。日野町では、合唱を一時的にするのではなく、一生続けられる合唱団があることが好評でした。『少年少女合唱団』→『中学校音楽部』→『日野混声合唱団』があり年齢に関係なく続けていけることが、とてもうれしく感じています。



日野混声合唱団 第55回滋賀県合唱祭



日野中学校音楽部 楽しく歌い終わった様子

年齢層が幅広い日野混声合唱団はこれからもより一層、活気ある活動をしていっていただきたいです。

### 日野町立日野中学校 音楽部 ☆

日野中学校の音楽部は、59人で活動されています。部員は、幼い頃から合唱団に所属している人や、小学

校でNHKコンクールに出場していた人などが多く、音楽部への入部動機は、「音楽が好きだから」と「部活紹介での印象が良かったから」という声が多くありました。皆さん楽しそうに歌っておられました。

活動を通してうれしかったことは、「多くの人のつながりを持って、友達が増えたこと」「大会で賞を頂けたこと」、良かったことは、「上達していくと達成感が得られること」や「他校の発表を聞けること」などを挙げられました。一方、困ることは、「部活の準備のために」机を片付けなければならぬこと「や」「風邪を引くと部員にうつすから部活動に出席できないこと」、「人数が多いため意見が一つにまとまらないこと」などを挙げられました。

皆さんに「音楽とは？」と尋ねてみたところ、一人ずつ違いました。音楽とは、「友達」や「人を幸せにするもの」、「欠かせないもの」、「元気の源」などとたくさん話してくださいました。

各個人の音楽への思いは違っても、多くの仲間と活動している姿がとても輝いていました。

これからも日野中学校音楽部の活動が活力あふれるよう期待しています。

### 編集後記

私は企画振興課で職場実習生として、「広報ひの」の制作(p4・5)に関わらせていただきました。特集の企画・レイアウト・取材など初めてのことで戸惑うこともたくさんありました。ご迷惑をかけながらも貴重な経験をさせていただきました。読む側から書く側になると、広報には誰もが読みやすいようにと細やかに配慮されていることを知りました。この実習で学んだことは、これからの生活で生かしていきたいと思っています。

この記事で少しでも合唱に興味を持っていただければ良いと思います。

日野高等学校 3年

仲上 佳子



## 町民が集う歌声の祭典

わたむき合唱祭



▲フィナーレには、出演者全員で合唱をされました

12月12日(日)に開催されたわたむき合唱祭には、500名を超える観客が訪れました。

この合唱祭が開催されるまでには、各合唱団の代表で実行委員会を立ち上げ、月1回の会議を重ねて作り上げられました。第2部は、実行委員の皆さんがテーマを決められ、毎年、趣向を凝らしたステージになっています。

この合唱祭を通して、各合唱団が一つになり、全員合唱では、ステージと観客席も一つになり、感動的なフィナーレとなりました。

## 全国で合唱の頂点に

日野町連合青年会

11月14日(日)、日本青年館(東京)で開催された全国青年大会(芸能の部・合唱)において、日野町連合青年会が見事最優秀賞を受賞されました。当日は、17名が出場。6月末からの練習の成果を十分に発揮し、「翼をください」「名づけられた葉」の2曲を披露されました。「受賞が決まった瞬間は、声を上げて喜びました」と皆さん。この快挙に、第14回わたむき合唱祭にはゲスト出演され、最優秀賞の歌声を地元日野の皆さんにも届けられました。



▲おそろいのTシャツで登場。歌声もそろってました【わたむき合唱祭】

日野の合唱に貢献されている菱川きよみ先生にお話を伺いました。先生は、昭和31年に日野西中学校に赴任、その後日野東中学校へ。中学校統合後も、教員として38年間、日野中音楽部を率い、定年後も町内の数々の合唱団の指導をされています。

## 「合唱のまち」の原点

—それは半世紀前に始まった

昭和31年に日野西中学校で音楽部を設立したのが始まりです。その後、日野東中学校でも音楽部を設立。コンクールに出場し、子どもたちのがんばりや熱い思いが、教師や町民の皆さんに伝わっていきました。その後、学校だけでなく、混声合唱団や少年少女合唱団ができていきました。また、町内で合唱団のない地区にも合唱団ができるよう呼びかけ、わたむき合唱祭を開催できるようになりました。この合唱祭は、各合唱団と文化振興事業団のスタッフの思いが一つになって作り上げられたものです。まさに、「合唱のまち」につながっていったと思います。

合唱は、歌い合わせることによって、仲間づくりはもちろん、人を思いやる心を学ぶことができるものだと思います。合唱を通して個性豊かに人間として大きく育つことで、あらゆる面で力を発揮できる人になっていくてくれると信じています。

伝統を継承していくのは大変です。次のリーダーたちが、それぞれの個性を生かし、合唱のまち日野を継承して欲しいと思います。



菱川きよみ先生

これからも歌声が響き渡り 皆さんが元気でいきいきと暮らすことができるまちに